

コヤマインターナショナル 19春夏

## 和テイストが目白押し

### 和紙や墨汁コーティング

生地商社のコヤマインターナショナル(浜松市)は19春夏に向けて、和テイストにこだわった新商品

品を充実する。幾つかの商品は既に国内で契約に至っているが、海外市場向けでも好評と言う。

用意する

のは、和紙

系使いのシ

リース、遠

州産地で加

工する「遠

州灘」、墨汁

コーティン

グの「ジャ

パン・ブラ

ック」など。

和紙系は主

荒波のような表面感が楽しい「遠州灘」

和紙系は主

に備後撚糸(広島県福山市)の「備和(びんわ)」

を使って綿・和紙のガーゼ、フランネル、グロケランを提案中しており、反応も良い。5月の「プレミアム・テキスタイル・ジャパン」展でも人気上位を和紙シリーズが占めた。今後も強みのリネンとの複合などでバリエーション拡大を図る。

遠州灘は、「荒波」をイメージした生地表面の凹凸が特徴。リネンのポイ

ルや綿・ウールのカットジャカードなどを提携する遠州産地の加工場で加工した。

ジャパン・ブラックは「日本伝統の黒」として生地の両面に墨汁コーティングと原反ワッシャーを施すもの。両面にこの二つの加工を施すことで、手作業で染めたようなフンダムなシワ感と自然なムラ感を表現する。

一反ごとに異なる表情になるためその「フンダム」さを理解してくれる先に「販売していく。

このほか、龍田紡績のリサイクルコットンと米綿の混紡糸「オールドコット」を使った環境配慮型商品なども打ち出す。